

# 議会だより

No 155

平成30年  
4月30日発行

群馬県邑楽町議会 URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail [gikai@swan.town.ora.gunma.jp](mailto:gikai@swan.town.ora.gunma.jp)



幼稚園入園式

## 平成30年3月定例会

平成30年度予算可決(一般会計・各特別会計)

■可決された議案	3～4
■予算質疑	5
■一般質問	6～12
■わたしのふるさと等	13～14

### 一般質問 7人の議員が町の考えを問う

- ・大賀孝訓議員
- ・松島茂喜議員
- ・神谷長平議員
- ・瀬山 登議員
- ・塩井早苗議員
- ・松村 潤議員
- ・大野貞夫議員

### 動画による録画映像配信中

ホームページからアクセスできますので  
ご覧ください

## 平成30年度一般会計予算

### 83億4,300万円の予算を可決 対前年比0.6%増

平成30年度予算の予算規模は、一般会計で83億4300万円、前年度に比べ4800万円、0.6%の増額といたしました。

歳入での町税収入見込額は、町民税や軽自動車税の増収が見込まれる一方、固定資産税や町たばこ税、都市計画税の減収が見込まれることから、前年度比500万円減の34億6300万6000円としました。

地方交付税は、前年度を上回る10億3500万円を見込みました。繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金及び社会教育施設建設基金等から合わせて9億5770万円計上しました。前年度比2億8789万9000円の増です。地方交付税、県支出金等が増加して

いますが、町税や国庫支出金等が減少する中で、財源確保の観点から、前年度に引き続き財政調整基金繰入金を計上しました。

町債は、今後の財政負担を考慮して5億7640万円（23.2%減）ですが、その内の7割以上は、臨時財政対策債が占めています。歳出の大きなものとして、

町制施行50周年記念事業に335万4000円、町制施行50周年記念事業に206万5000円、介護給付・訓練等給付事業に3億4315万7000円、おうちこども園管理運営事業に8312万円、子ども・子育て支援事業に7060万1000円、障害児通所支援給付事業に7279万4000円、保険基盤安定制度操出金に1億36

平成30年第一回定例会が、3月6日から16日まで開かれました。平成30年度の一般会計予算や各特別会計予算等の議案が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。



町制施行50周年を迎えた邑楽町

91万8000円、浄化槽整備事業に3355万7000円、一般廃棄物処理一部事務組合負担金に2億9873万6000円、小規模農村整備事業に4527万円、農畜産物処理加工施設事業に450万4000円、町道整備国庫補助事業に1億2000万円、轄土地区画整理事業に1億5410万1000円、公共下水道推進事業に1億6995万9000円、消防施設事業に4259万2000円、常備消防事業に3億7343万9000円、非常備消防事業に2762万7000円、災害対策事業に1370万5000円、小中学校臨時補助教員等配置事業に6561万6000円、中央公民館建設事業に4億6758万5000円、邑楽中学校屋内運動場床改修事業に4564万8000円計上しました。

公債費では、長期債元金に7億1019万6000円、長期債利子に4446

万8000円計上しました。景気動向は民需を中心に徐々に回復の動きが広がっているといわれておりますが、まだまだ景気回復を実感することは難しい状況であります。国の国債依存度は限界を超えたといわれている状況において、地方への財政措置がこれまでのように確保される保証はないといわざるを得ません。

予算の執行にあたり、事務事業の見直しや合理化をより一層推進するとともに、事務執行にあたる職員の資質の向上を図ってまいります。そして、町民の皆さまと共に、大いに意見交換を行いながら、新たな時代に即応した行政のあり方を模索しつつ、行政の執行にあたってまいれる所存であります。

町民の皆さまと議員各位の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。  
(町長の施政方針抜粋)

## 可決された議案

### 〔条例・規約の改正〕

#### 邑楽館林医療事務組合の規約変更

邑楽館林医療事務組合の事務所の所在する施設名称を「館林厚生病院」から「公立館林厚生病院」とするため、組合規約を改正しました。

#### 邑楽町職員の給与に関する条例等の改正

人事院勧告及び県人事委員会による勧告を参考に、期末勤勉手当の支給率を見直し、給料表の改正、高齢者層の給与減額・現給補償の廃止などを行うため条例を改正しました。

#### 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

邑楽町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の改正  
職員が期末勤勉手当に準

じて、議会議員、町長、副町長及び教育長の期末手当の年間支給率を100分の440に改正しました。

#### 邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の改正

平成30年4月1日から1年間、町長15%、副町長・教育長10%、それぞれ給料が減額となりました。

#### 邑楽町国民健康保険条例の改正

平成30年4月1日から国民健康保険制度改革により県が財政運営の責任主体となつて運営することに伴い、条例の一部を改正しました。

#### 邑楽町後期高齢者医療に関する条例の改正

邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の改正

「高齢者の医療の確保に関する法律」に、後期高齢者医療制度の加入時の住所地特例の見直しに関する条文が新設されることに伴い、

条例の一部を改正しました。

#### 邑楽町立認定こども園設置条例の改正

「おうちこども園」について、質の高い教育・保育を提供する「幼保連携型認定こども園」として、設置認可届が県に受理されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

#### 邑楽町国民健康保険条例の改正

「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

#### 邑楽町介護保険条例の改正

第7期邑楽町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で推計した、介護給付費及び地域支援事業費等の見込み額をもとに、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料の改定を行うことから条例を改正しました。

**邑楽町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の改正**

「地域包括ケアシステム」の強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等及び経過措置に関する省令」の施行に伴い、条例を改正しました。

**邑楽町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例**

平成30年4月1日から居宅介護支援事業者の指定権限が県から町に委譲されました。これに伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例を制定しました。

**邑楽町小口資金融資促進条例の改正**

群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部改正が行われたことに伴い、条例を改正しました。

**邑楽町シンボルタワーの設置及び管理に関する条例の改正**

シンボルタワーの入場者数の増加と、階段での昇り降りをする事により町民の健康増進を目指して、スタンプカードを導入することから条例を改正しました。

**邑楽町工場立地法に基づく地域準則条例**

緑地と環境施設の面積率を緩和し、既存企業及び新たな進出企業の設備投資を促すことを目的に、条例を制定しました。

**邑楽町道路占用料徴収条例の改正**

「道路法施行令」の一部改正に伴い、道路占用料を国の占用料と整合した額にするため、条例を改正しました。

**邑楽町都市公園条例の改正**

「都市公園法施行令」の改正により、「都市公園全

体の敷地面積に対する運動施設の敷地面積の割合の上限」について、条例で定めることとされたことに伴い、条例を改正しました。

**〔財産の取得〕**

**中央公民館舞台照明備品**

一式  
取得の価格  
5346万円(消費税込み)  
契約の相手方  
東京都台東区池之端2丁目7番17号  
株式会社 松村電機製作所  
東京支店

**中央公民館舞台大道具備品**

一式  
取得の価格  
2090万8000円(消費税込み)  
契約の相手方  
東京都新宿区新宿四丁目3番17号  
三精テクノロジーズ 株式会社 東京支店

**中央公民館舞台音響備品**

一式  
取得の価格  
1323万円(消費税込み)  
契約の相手方  
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号  
ヤマハサウンドシステム 株式会社

**中央公民館什器備品**

一式  
取得の価格  
3445万2000円(消費税込み)  
契約の相手方  
前橋市江田町111番地の2  
フジコー 株式会社

**中央公民館舞台幕備品**

一式  
取得の価格  
777万6000円(消費税込み)  
契約の相手方  
東京都新宿区新宿四丁目3番17号  
三精テクノロジーズ 株式会社 東京支店

**中央公民館舞台照明備品**

一式  
取得の価格  
5346万円(消費税込み)  
契約の相手方  
東京都台東区池之端2丁目7番17号  
株式会社 松村電機製作所  
東京支店

**〔人事案件〕  
人権擁護委員の推薦**

法務大臣から、3年の任期で委嘱されている委員3名のうち、関根史代さん(鶴新田)が平成30年6月末に任期満了となることから、引き続き同氏を推薦することとの意見を求められ、同意しました。

**委員会**

**議会運営委員会の結果**

2月21日に開催された議会運営委員会において、信任決議を可決されている黒田重利委員長から提案された3月定例会の会期日程について、採決の結果否決されました。

**賛成委員**

坂井孝次 瀬山 登

**反対委員**

大野貞夫 松村 潤  
原 義裕

本会議において議長提案の結果、3月6日から3月16日と決定しました。

## 会期日程

## 請願・陳情

1件の請願が受理され、審査の結果次のとおりになりました。

### 〔不採択となった請願〕

▼年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願

請願者

前橋市樋越町

本部  
全日本年金者組合群馬県

執行委員長 田村 照代

板倉町朝日野

全日本年金者組合群馬県

本部館林邑築支部

支部長 大西 和夫

### 平成29年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	89億6,271万円	8,812万円	90億5,083万円
国民健康保険特別会計	37億7,021万円	△4,999万円	37億2,022万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,713万円	784万円	2億8,497万円
介護保険特別会計	20億4,994万円	121万円	20億5,115万円
下水道事業特別会計	2億5,034万円	△2,032万円	2億3,002万円
学校給食事業特別会計	2億4,118万円	△105万円	2億4,013万円

### 平成30年度当初予算額

会計別	本年度予算額	前年度予算額	対前年増減率
一般会計	83億4,300万円	82億9,500万円	0.6%増
国民健康保険特別会計	32億7,935万円	36億0,929万円	9.1%減
後期高齢者医療特別会計	2億8,236万円	2億3,444万円	20.4%増
介護保険特別会計	19億4,777万円	19億3,454万円	0.7%増
下水道事業特別会計	2億8,153万円	2億4,501万円	14.9%増
学校給食事業特別会計	2億3,778万円	2億4,098万円	1.3%減

### 新年度予算質疑(要旨)

新年度予算についての質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。

Q田部井健二議員 職員の

社会参加費が50万円計上されている。昨年12月、10万円の補正予算案が提出され、議会で修正された経緯がある。職員のモチベーションを上げるためにも当初予算を増額すべきである。

A町長 内容を十分精査し、昨年と同額で行う。

Q神谷長平議員 総務課で

管理する財産管理費が615万円計上されているが、バスを購入するのか。

A総務課長 町長車は16万6000キロ乗っている。また、職員が使用している車も、15年以上使用し老朽化しているので買い替えを予定している。

Q大賀孝訓議員 公用車の

購入は、予算説明時では多人数が利用できるワゴン車と普通乗用車ということではなかったのか。

A総務課長 公用車の購入については普通乗用車2台分の予算計上である。

Q松島茂喜議員 町立集会所の

管理事業の修繕料は、昨年とほぼ同額の10万円となっている。どこを修繕するのか。

A総務課長 修繕費については、突発的に発生したときには対応するもので、今、不具合があつて対応するものではない。

Q大野貞夫議員 国民健康

保険特別会計操出金で、財政安定化支援事業操出金が前年度より2450万円減額となっているが、その原因は。

A住民課長 国から地方への交付税措置額が、平成29年度実績に基づき、減額となったためである。



# 一般質問



松島 茂喜  
議員

## 一人暮らし高齢者への 支援について

**問** 一人暮らし高齢者の世帯数、その推移増減率を示していただきたい。

**答** **健康福祉課長** 平成12年では207世帯2・5%であったが、平成28年では648世帯6・5%であり、3・1倍になっている。

**問** 現在、町で行っている主な一人暮らし高齢者支援事業と実績について伺う。

**答** **健康福祉課長** 緊急通報設置事業では、114台の設置。日常生活用具給付事業では、電磁調理器、火災警報器、自動消火器、老人電話が給付対象であるが、平成19年度に電磁調理器1台のみの実績である。

**問** 昨年、篠塚地内で一人暮らしの高齢者が火災でお亡くなりなられた。近隣住民の方から、一人暮らし高齢者世帯の火災警報器設置に対して補助金等の問い合わせがあった。日常生活用具給付事業はほとんど実績がないが、なぜこういった状況になっているのか。

**答** **町長** 担当する民生委員を通して啓蒙しているが、現状に合わないというところもあるので、要綱等の見直しも含めて指導していく。

**問** 原因はそれだけではなく、行政は無料給付対象者を把握しており、積極的な利用を促すべきである。

ただ申請を待っているだけではだめだと思うが、町長の考えは。

**答** **町長** 申請がなかったというところは、周知徹底を改めなければならぬ。至らない点は十分反省したい。

**問** 反省は誰でもできるが、それを次の事業展開にどう繋げていくのか議論をしたい。今回の質問にあたり、元職、現職を含め数名の民生委員さんに話を伺ってきた。民生委員は国からの委嘱を受けているが、奉仕者として報酬は出ている。僅かな活動費が支給されているだけであり、活動日数も月平均で約11日に及んでいる。そういった状況

下でありながら高齢化によって仕事量は増加している。その現状を踏まえ、地域包括ケアシステムや邑助けネットワークの基盤整備が急務である。その中でも、一人暮らしの高齢者に重点を置いたオリジナルティのある施策は行われていない。今後の事業展開について町長に伺う。

**答** **町長** 民生委員・児童委員の役割には、大変感謝している。2025年

には団塊の世代が75歳になるので、地域のみなさんの協力を大いにいただき、地域包括ケアシステムや邑助けネットワークに繋がってきたい。

**その他の一般質問**  
・公共施設使用料について

邑楽町にない先進的な取り組み



神谷 長平  
議員

## 役場職員の 募集方法について

**問** 過去5年間の役場職員  
の募集状況について確  
認したい。

**答** **総務課長** 平成25年度  
から今年度までの募集  
状況等について一般職・一  
般事務職においては、大学  
卒業者と高校卒業者の試験  
を夏と冬に実施している。  
平成25年度は大学卒業者の  
試験を7月28日に実施、発  
表を10月22日に行っている。  
平成26年度から平成29年度  
まで、大学卒業者の試験を  
7月に実施し、9月中旬と  
10月中旬に発表している。  
高校卒業者の試験は、平成  
25年度は12月中旬、平成26  
年度は1月中旬、平成28年  
度は9月中旬に試験を実施  
している。平成29年度は試  
験を行っていない。

**問** 平成28年度では、受付  
期間が6月13日から22  
日。第1次試験が7月24日。  
高校卒業者の受付期間が7  
月25日から8月19日。試験  
日が9月18日と広報おうら  
に掲載されている。大学卒  
業の方が受験したが、合格  
できなかったのが高校卒業  
者の試験を受けた実例はあ  
るのか。

**答** **総務課長** 試験要項で  
は高校卒業・大学卒業  
などの学歴を条件として募  
集している高校卒業生・大  
学卒業生の両方の試験を同  
一の者が受験した事例は、  
過去にある。

**問** 一人の人は2回のチャ  
ンスがある。もう一人  
の人は1回のチャンスしか

ない。これは不平等ではな  
いのか。一度受験し不合格  
になったら、次年度に再挑  
戦するのが基本ではないか  
と思うが。

**答** **町長** 大学を卒業した  
方が不合格で高校卒業  
以上ということになってい  
るために、1年に2回の受  
験機会があることはそのと  
おりと思う。平成29年度は  
1回行った経緯がある。し  
かし、それでいいのか疑問  
はある。高校卒業以上の方  
を受験資格として、要件に  
当てはめるのは大切な事と  
思っている。これからは、  
今までの経験を踏まえ平等  
性を欠くことのないように、  
十分考えて行かなくてはな  
らないと思っている。

**問** 従来は、大学卒業の方  
や高校卒業の方から幅  
広く優秀な人材を採用して  
きたと思う。これらの経緯  
を尊重した中で、平成30年  
度の職員採用試験について  
確認したい。

受験生の公平性を  
考える

**答** **町長** 受験生に公平性  
を持った考え方が一番  
大事だと思っている。これ  
からも過去の実績をもとに  
して行っていきたい。

その他の一般質問  
・ 公共施設等総合管理計画  
について





# 一般質問



瀬山 登  
議員

## 町の安定的財源に繋がる 土地活用を

**問** 過去に邑楽町では、新中野住宅団地、鞍掛第一、第二、第三工業団地、

明野住宅団地の大規模開発があった。土地の固定資産税はどのように変化したか。

**答** **税務課長** 工業用地は、約240倍の1億3600万円。水田地域からの

新中野住宅地は、約63倍の1900万円。明野住宅地は、約50倍の980万円である。

**問** 地目別の課税単価は。

**答** **税務課長** 平成28年度の概要調書で1000平方メートルあたりの単価は、田が1429円、畑が729円、宅地が7万1258円、山林が461円、

雑種地が3万8929円、工業専用地域が平均で11万1000円である。

**問** 土地利用の形態が変われば税収が大きく変わる。町長は、任期中一度も

大規模開発に取り組めていない。今後の町長の意欲は。

**答** **町長** 土地利用が大きく町の形態を変え、税収、発展も変わるが、しかし、町独自のものではなく、県の都市計画マスタープランや農業振興地域の網があるため変えることができない。今度新たに産業団地候補地として加えたという部分もある。

**問** 平成30年、都市計画マスタープランの改定、

立地適正化計画が策定された。基本的な目標年次は20年後である。町民に受け入れられるか。

**答** **都市建設課長** 邑楽町立地適正化計画は、平成27年からまちづくり委員会を8回開催し、作成した後に都市計画審議会で審議して、原案のとおり答申され策定された。予定では、

4月の広報おうらに掲載し、5月に概要版を全戸配布する予定である。

**問** 町の広い面積が農地である。持続可能な農業地域をどう確立していくのか。

**答** **農業振興課長** きめ細やかな耕作条件の改善を機動的に進めるため、国

県による基盤整備事業を検討している。

**問** 農地利用の農業者は、家族農業で高齢化が進み担い手不足のため、耕作できない農地が大量発生したときどのように対応するのか。

**答** **農業振興課長** 農地中間管理機構等と連携強化を図り農業委員と農地利用最適化推進委員で対応していく。

**問** 農地中間管理機構が借り入れていた農地を条件によって基盤整備ができる法案が昨年の国会で成立した。取り組みを進めるのか。

有効な土地利用を  
図っていく

**答** **町長** 耕作放棄地域があり、農地中間管理機構を通して、国、県で約9割の費用負担制度を活用し今後の有効な土地利用を図

っていくきたいと検討している。



荒廃した農地



塩井 早苗  
議員

## 中央公民館活動の これから

**問** 先日、平田オリザさんの講演を聞いた。彼の言葉で文化の町邑楽町の可能性は「近隣の市町村で雇用が十分ある邑楽町は、文化の町として拠点をつくることで人口増加につなげ、町に活気をつくれるチャンスが生まれる」と。目からうろこの言葉であった。今まで3館で活動していた利用者団体はどういうものがあるか。

**答** **生涯学習課長** 平成29年度の利用団体登録数は3館を合わせ195団体、活動の内容はダンス21団体、手芸等19団体、料理16団体、器楽演奏15団体、健康体操15団体、書道11団体、スポーツ11団体、合唱やコーラス10団体、絵画10団体など

である。このほか八木節や和太鼓などの伝統芸能。陶芸や写真などの文化芸術関係。茶華道、俳句、短歌、囲碁、将棋などの趣味教養文化財の研究や古典文学の研究。また、手話、点訳、音声訳の福祉ボランティアなどさまざまな団体等が活発な活動を展開してきた。

**問** たくさんの利用団体の活動には新しい中央公民館ができることで変化が生まれてきているか。

**答** **生涯学習課長** 新たなチャレンジ精神が生まれ、音楽関係など舞台発表を伴う団体は、音響の良いホールで演奏ができるということを大変楽しみにしている。通年事業にとどまら

ず、新たな取り組みとして新しいイベントを企画したいという具体的な相談も出ている。

**問** 開館を見据えたソフト面での準備は。

**答** **生涯学習課長** 町制施行50周年記念事業も含め、さまざまな事業を予定。9月1日の開館記念式典に始まり、落語会、講演会、ピアノコンサート、オリジナルの総合的な舞台芸術などを予定。コンビニエンスストアなどでチケットが購入できるようなチケットイングサービスについても、導入を検討している。

**問** 「自然とアートのまちづくり」で岡山県奈義

町は、合計特殊出生率2.81という驚異的な数字を上げているが。

**答** **教育長** 文化芸術の施設を目標を持って建てることが、町は変わるのだということを実感した。それには思い切った予算を計上し、頑張ることが必要である。

**問** 教育政策や文化政策と

いうのは一朝一夕に成果が出るものではない。オープニングのときだけ予算をつけるが、次の年からはばつさり切られて貸し館しか行えない。せつかく造っても寂れてしまうこともある。必要な予算を毎年しっかりとつけていくということが大切だが。

### 長期的な視点での 継続的な投資が必要

**答** **町長** 運営管理には、維持費がかかる。それぞれの団体の自主性に基づいて行っていく事業計画等

を見据え、活動が十分発揮できるよう担当と協議し、遜色のない形で予算配当に取り組みたい。長期的な視点に立ち、継続的な投資が必要だと思う。



平田オリザさんの講演会の様子

# 一般質問



松村 潤  
議員

## 命を守る施策 AEDについて

**問** 現在、我が国において心臓病が原因となり病院外で突然の心停止を起す方は、年間約7万人、1日平均200人以上の数になると言われている。心臓が停止した方にAEDを使った救命処置がある。1分遅れると救命率は7%から10%ずつ低下すると言われている。そこで町民の命を守る救命器具であるAEDの設置状況を伺う。

**答** **総務課長** 現在、25の公共的な施設に28台設置してある。

**問** 小中学校はどのような場所にAEDを設置しているか。

**答** **学校教育課長** 小学校では、保健室や職員玄

関に、中学校でも職員室と玄関の間に設置してある。

**問** 小中学校が休日の時、少年野球チームや町民が、校庭や体育館を使用中AEDが必要となった時、施錠されているため校舎内に入れない場合の対応を伺う。

**答** **学校教育課長** 休日に教職員がいない状態ではAEDを使用することはできない。学校へのAEDの設置目的が学校内で児童生徒を対象とした使用を想定している。

**問** 休日に小中学校が解放されている現状を考えた時に、AEDが取り出せない状況があるが、それ

いいのか。最近、他の自治体の小中学校では屋外型AEDの設置が増えている。

**答** **教育長** 屋外設置には2つの課題がある。まず誰でも開けて使える状態にして置かなければならぬため、いたずらや盗難の心配がある。2つ目は、AEDは電池を使用しているので屋外では電池の消耗が

激しくそのチェックを常にしなければならぬ。

**問** 屋外型AED収納ボックスは扉を開ければ大音量が鳴り、パトライトが光り緊急事態が発生したことがわかる仕掛けになっている。

**答** **教育長** 町全体として協議していきたい。

**問** 日本循環器学会ではAEDの設置に当たっては、使われる可能性の高い場所、つまり運動が行われるグラウンド、プール、体

育館が心停止の発生しやすい場所である。保管場所は施錠しないで24時間、365日利用可能な状態にすべきと提言されているが、

### 十分慎重に考える

**答** **町長** 環境も十分考えないと温度管理タイプのボックス型になるが、壁掛け式で約10万円、自立式では約25万円、さらにAED本体の費用負担がかかるので、設置については十分慎重に考える。



AED (自動体外式除細動器)



大野 貞夫  
議員

第六次総合計画に基づく  
町づくりについて

**問** 第六次総合計画策定の基本的な考えが4項目

あるが、町長の町づくりへの考え方、思いに沿った計画になっているのか。

**答** 町長 この総合計画は、町民の皆さんの意識調査や意見を聞き、庁内の策定委員会を通して専門委員会

会で十分議論をしてつくり上げたものであり、その年の年の計画に基づいて事業を執行している。

**問** 答申の経過の中で、今何をやるべきか明確にな

っていないか。5項目に渡って意見が出されている。その一番最初に先駆的で独自性のある施策を早急に講じるとある。既に2年が経過しているが、その

実施状況は。

**答** 町長 特に先駆的、独自性ということであれば数多くある。平成30年度

予算の中にも町に合った独自性のある事業も折り込まれている。

**問** おおむねこの計画が講じられ、進んでいると

のことだが、1年ごとに検証するローリング方式を採用した経過は。

**答** 企画課長 基本計画に

ある43の基本の施策ごとに行うこととして、成果指標及び目標値が示されているため、当該年度における進捗状況、達成率によりローリングをして進行管理を行っていく。平成28年度分については、庁内の策定

委員会として分析、評価を行った。

**問** 経過の内容、報告など進捗状況が一目でわかるような形で、具体的な資料として議会にも示してほしい。

**答** 町長 その結果についてはいろいろな面で調査、研究をして、町づくりに反映させていた。町づくりになるので、報告はできると思うが、その内容、進捗状況、途中経過については十分担当と協議をした中で判断をしていきたい。

**問** この町の将来像、基本計画、基本方針の中に

質の高い学校教育の推進、また、社会教育、生涯学習

の方針が書かれているが、教育長の見解は。

**答** 教育長 学校教育の1つ目はグローバルな人材育成、2つ目は道徳の授業の充実による心の育成、

3つ目は学力の向上の3本柱を上げて推進してきた。社会教育については、各世代のみんなが生き生きと学び合い、成長できる環境を整えることが目的、役割と

考えている。

**問** この計画は前期、後期の10年にわたっての計

画となっている。あと3年で前期が終わる。そこに向けての課題と対策は。

計画実現に向け  
努力していきたい

**答** 町長 長期的な視野に

立って、この計画の実現に向けて努力をしていきたい。そのためには子どもを生み育てやすい環境を今以上に整えていくということが一つ。また、産業の振興も土地の利用について難しい面はあるが、産業振興を図っていく必要がある。



邑楽町第六次総合計画



## 休憩室 The Lounge

### 三匹の猫たち



眞下 和子  
(一本木・18区)

息子たちも独立し、現在は夫と三匹の猫「ミー・クー・クロ」と同居中です。

猫好きの夫は、日に何度も三匹の猫を引連れて近所を散歩します。猫たちはうれしそうに尻尾を立てて、足元を駆け回っています。

最初は、一匹の茶トラの子猫だけ飼っていましたが、近所の外飼いの猫たちが遊びに来て、そのまま家の猫になってしまいました。茶トラの「ミー」はオスで、後から来た「クー」「クロ」はメスです。幸いなことに、避妊手術はもとの飼い主さんがしてくれていましたので助かりました。

猫ですから、人の思い通りにはなりません。猫たちを叱っても、壁は爪研ぎ跡、抜け毛は飛び、砂ぼこりでザラザラ…と振り回されている毎日です。それでも、名前を呼ぶと一目散に駆けきて、足に体をスリスリ、ザラザラの舌でペロペロ、かわいくて思わず抱き上げてしまいます。

### 議会のうごき

#### 2月

- 7日 全員協議会
- 9日 群馬東部水道企業団定例会
- 16日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会
- 21日 群馬県町村議会議長会定期総会  
議会運営委員会
- 22日 総務教育常任委員会  
産業福祉常任委員会
- 23日 全員協議会

#### 3月

- 6日～16日 定例会  
(本会議、議会運営委員会  
各常任委員会、全員協議会  
広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 22日 幼稚園修了式  
邑楽郡町村議会議長会定期総会
- 23日 小学校卒業式  
太田市外三町広域清掃組合議会定例会
- 24日 保育園卒園式
- 27日 邑楽館林医療事務組合議会定例会  
館林地区消防組合議会定例会
- 28日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会定例会

#### 4月

- 3日 広報委員会編集会議
- 9日 小・中学校入学式
- 13日 広報委員会校正会議
- 18日 全員協議会  
広報委員会校正会議
- 23日 邑楽郡町村議会議長会臨時会

### 議会だよりの表紙の写真募集

邑楽町議会では、議会だよりの表紙に掲載する写真を募集しています。邑楽町に在住・在勤であればどなたでも応募できます。詳しくはホームページをご覧ください。皆さまの応募をお待ちしています。

## 議会を傍聴しましょう

次回の定例会は

**6月11日から15日**を  
予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は12日、13日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、邑楽町公民館、長柄公民館、ヤングプラザに置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで 88-5511 (内線300)

# 長野県南安曇郡安曇村

**私**の故郷は、長野県南安曇郡安曇村島々（今は松本市安曇）です。

信州を代表する景勝地上高地の玄関口にあたり松本から西へ電車で30分、終点新島々駅よりさらに野麦街道を2キロ山あいに入った島々宿です。

その故郷は清流梓川と島々谷川が合流し、見上げる山々に囲まれ、四季折々の色彩豊かな環境に恵まれた所です。

小学生のころ、夏はガツタ仲間と清流でカジカを捕ったり、メンキン※をすくったり、また、学校の向かいの小高い「かいかけ山」に登って昆虫取りにかけずり回り、暗くなるのも忘れる毎日でした。

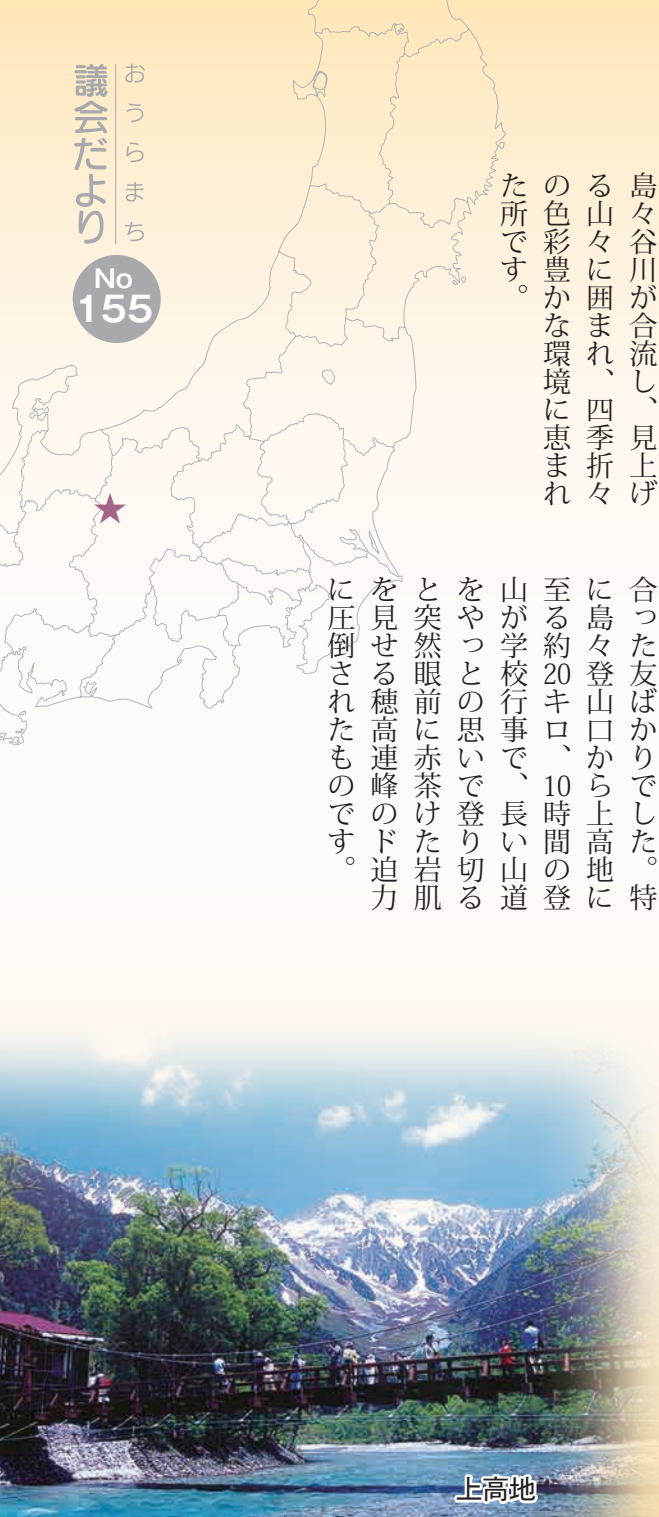
中学校は、30名ほどの小さな学校でしたが、気の合った友ばかりでした。特に島々登山口から上高地に至る約20キロ、10時間の登山が学校行事で、長い山道をやっとの思いで登り切ると突然眼前に赤茶けた岩肌を見せる穂高連峰のド迫力に圧倒されたものです。



齋藤 功  
(坪谷・22区)

今は年に2、3度帰郷しますが、高台の我が家から変わらぬ清流のせせらぎを感じながら「かいかけ山」に向かい合う空間が何よりの楽しみです。  
「いい所だし、信州ってところは」

※ガツタ やんちゃ  
※メンキン 岩魚イワウナの稚魚



上高地

## 編集後記

世界的な気候変動からなのでしょうか？春、しかも3月中旬に雪が降りました。雪国育ちの私には、12月から4月までは車をスタッドレスタイヤに履き替えているので、日常生活には支障がありませんでした。ノーマルタイヤの車では、行動が制限された人もおられたと思います。

「いつも変化に対応が必要」との考えがある一方で、「ゆっくりと家で一休み」と、両極端の意見が考えられますが、あなたはどうか考えられますか？

さて3月議会は、3月6日～16日まで11日間、新年度予算関係を中心に審議され、平成30年度予算が承認されました。

邑楽町も少子高齢化対策に代表されるような大きな問題を抱えています。

これからも今までにまして、皆さまの意見を町政に提案していけるよう願っています。

(坂井記)